通学区域検討に係るアンケート結果分析

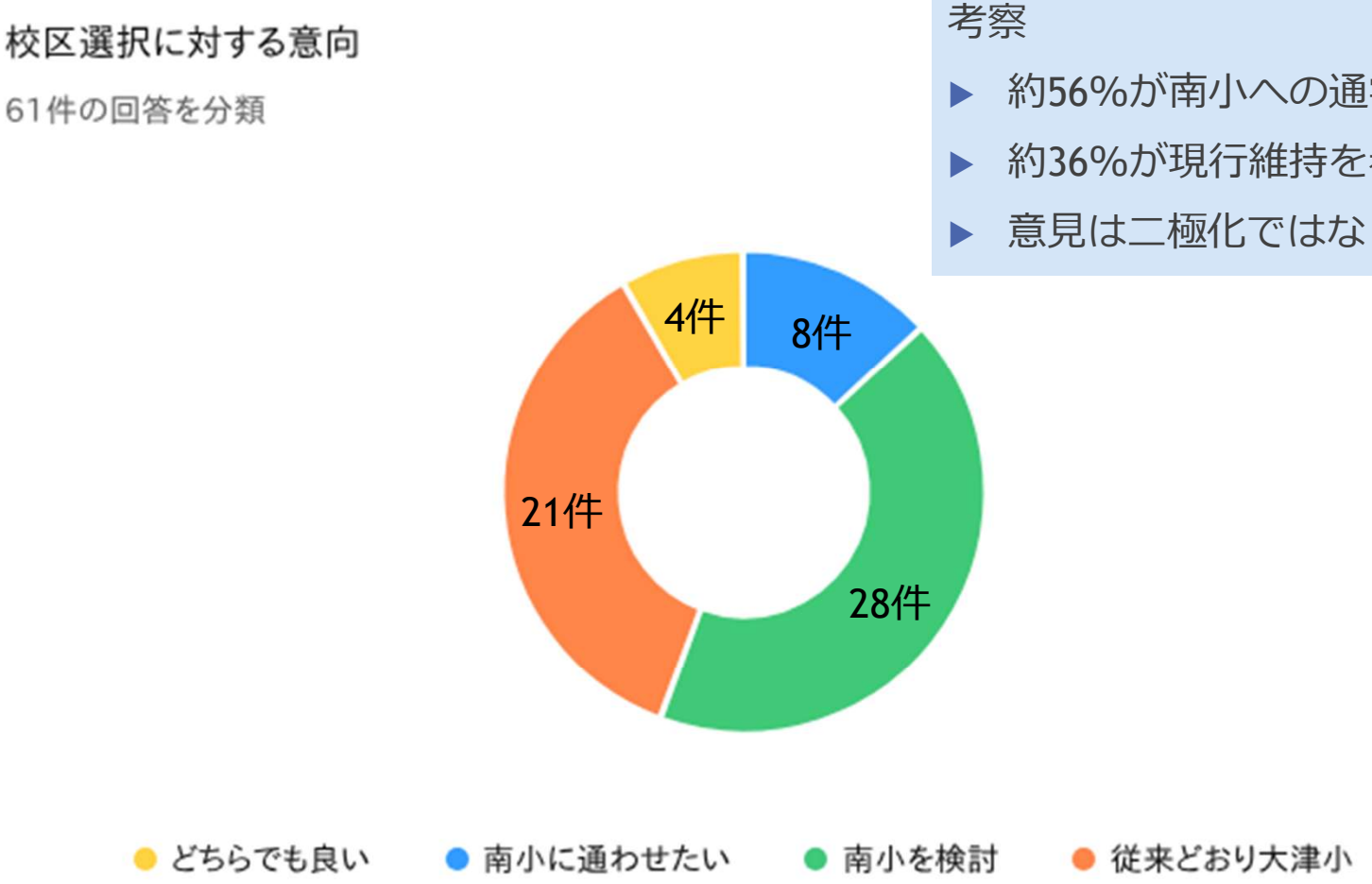
令和８年６月

大津町教育委員会

アンケート概要

- 調査目的：大津南小学校建替えに伴う「校区の在り方」
  「通学先選択」「通学環境」などについて、
  保護者の意見を参考にするため
- 対 象 者：灰塚区・新区に在住の、0歳～14歳までの子供が
  いる保護者［128世帯（灰塚区13、新区115）］
- 回答期間：6月1日（月）～6月12日（金）
- 回答件数：61件［灰塚区9、新区52］

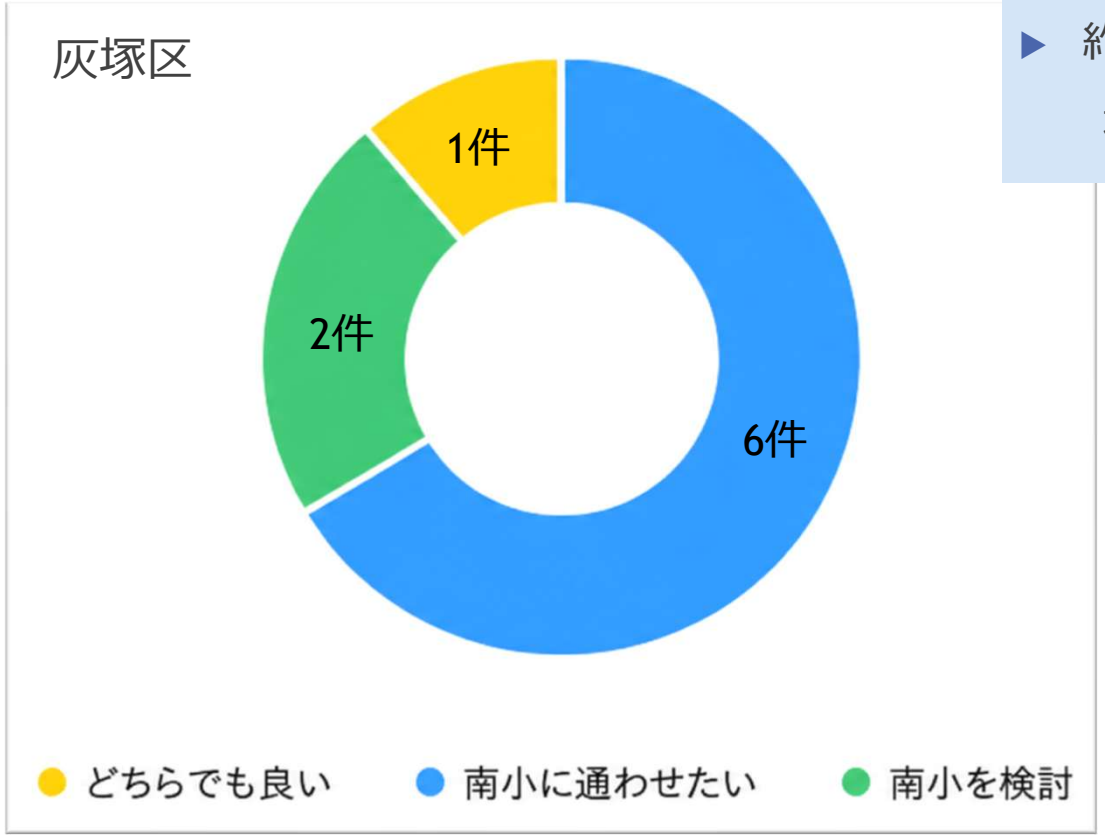
校区選択に対する意向［灰塚・新（合計）］



考察

- 約56%が南小への通学に前向き
- 約36%が現行維持を希望
- 意見は二極化ではなく拮抗している

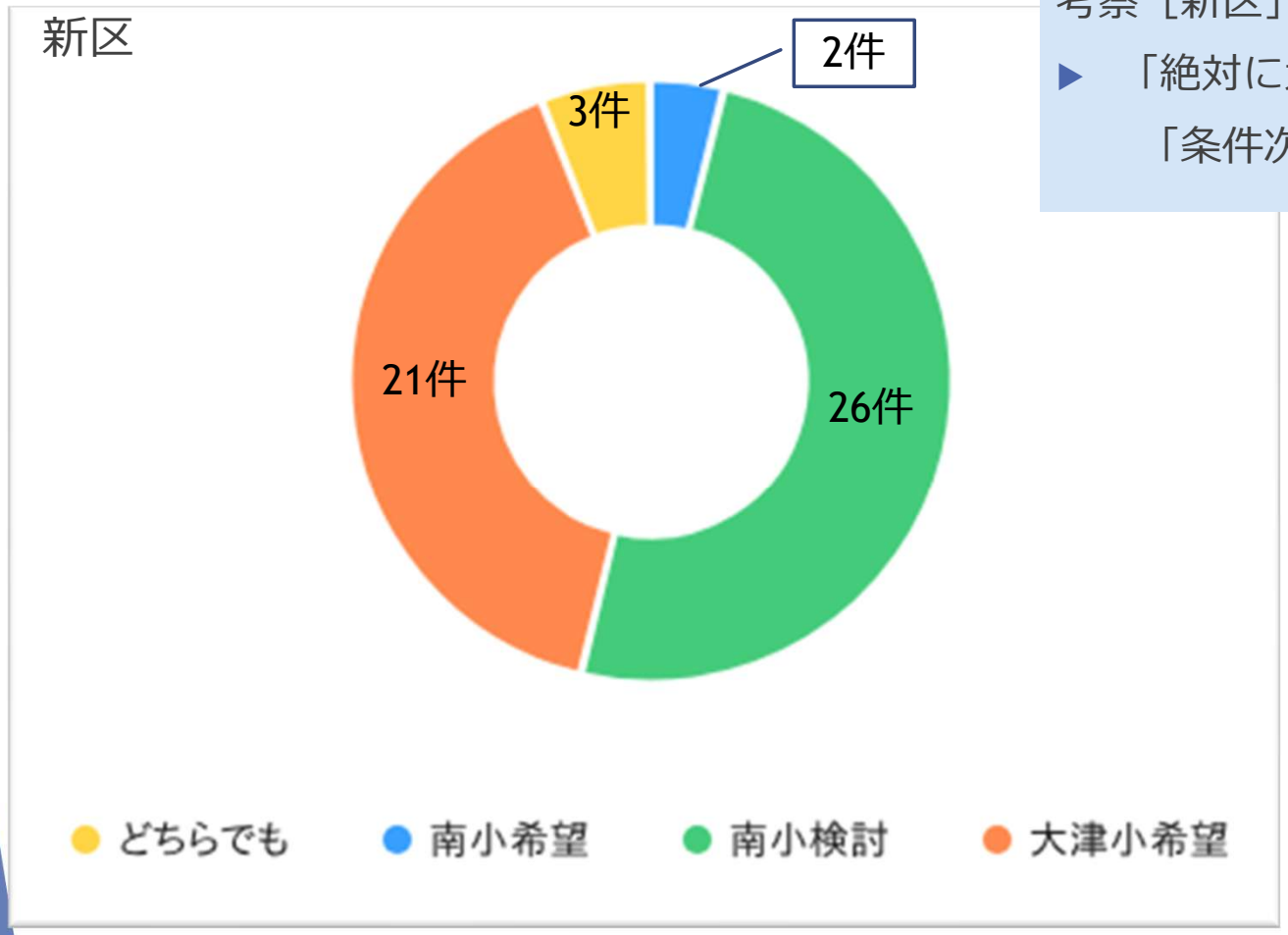
校区選択に対する意向［灰塚区］



考察［灰塚区］

- 約89%（8/9件）が、南小への通学に前向き

校区選択に対する意向［新区］

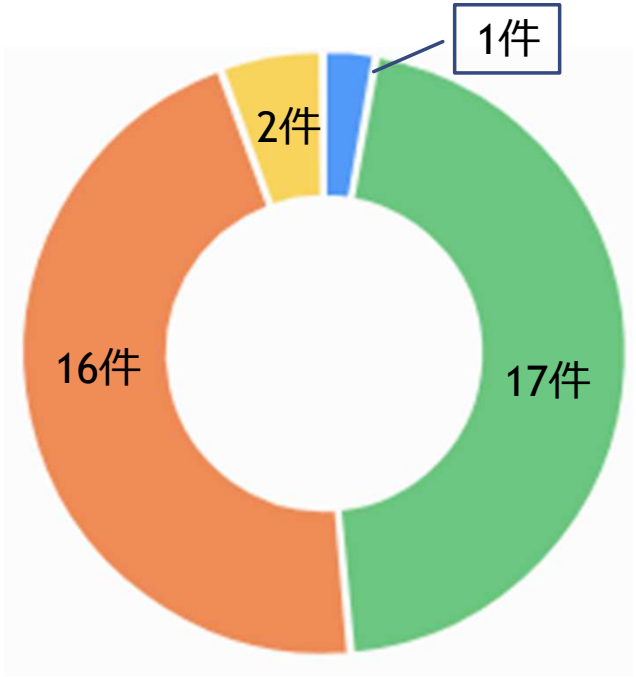


考察［新区］

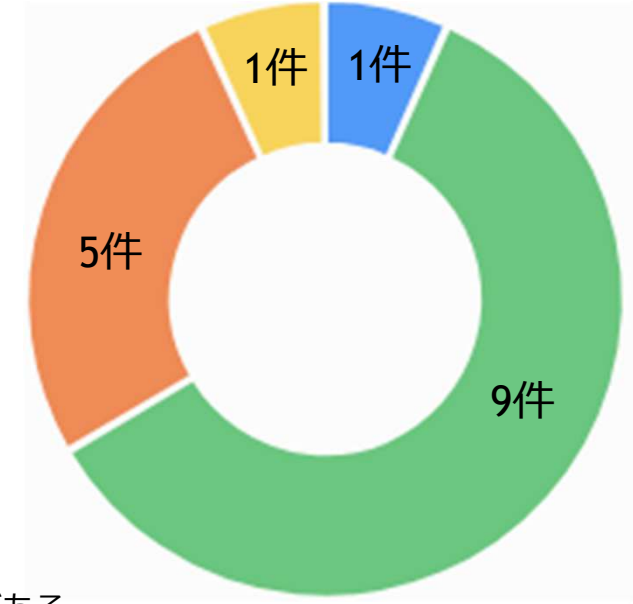
- 「絶対に大津南小学校」というより「条件次第で検討したい」層が多い

校区選択に対する意向新区［新区内］

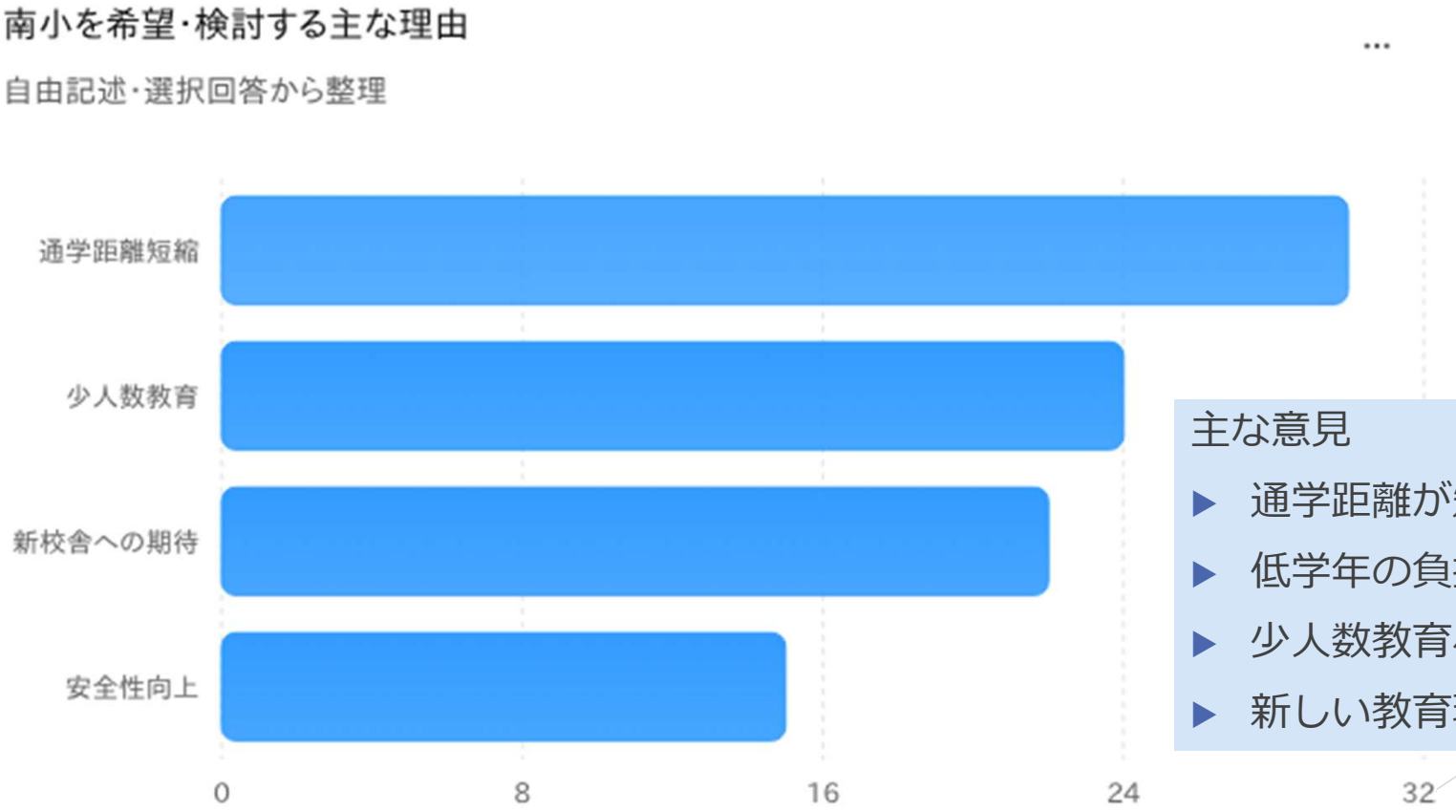
現在小学生がいる世帯（36件）



年長（５歳児）以下のみの世帯（16件）



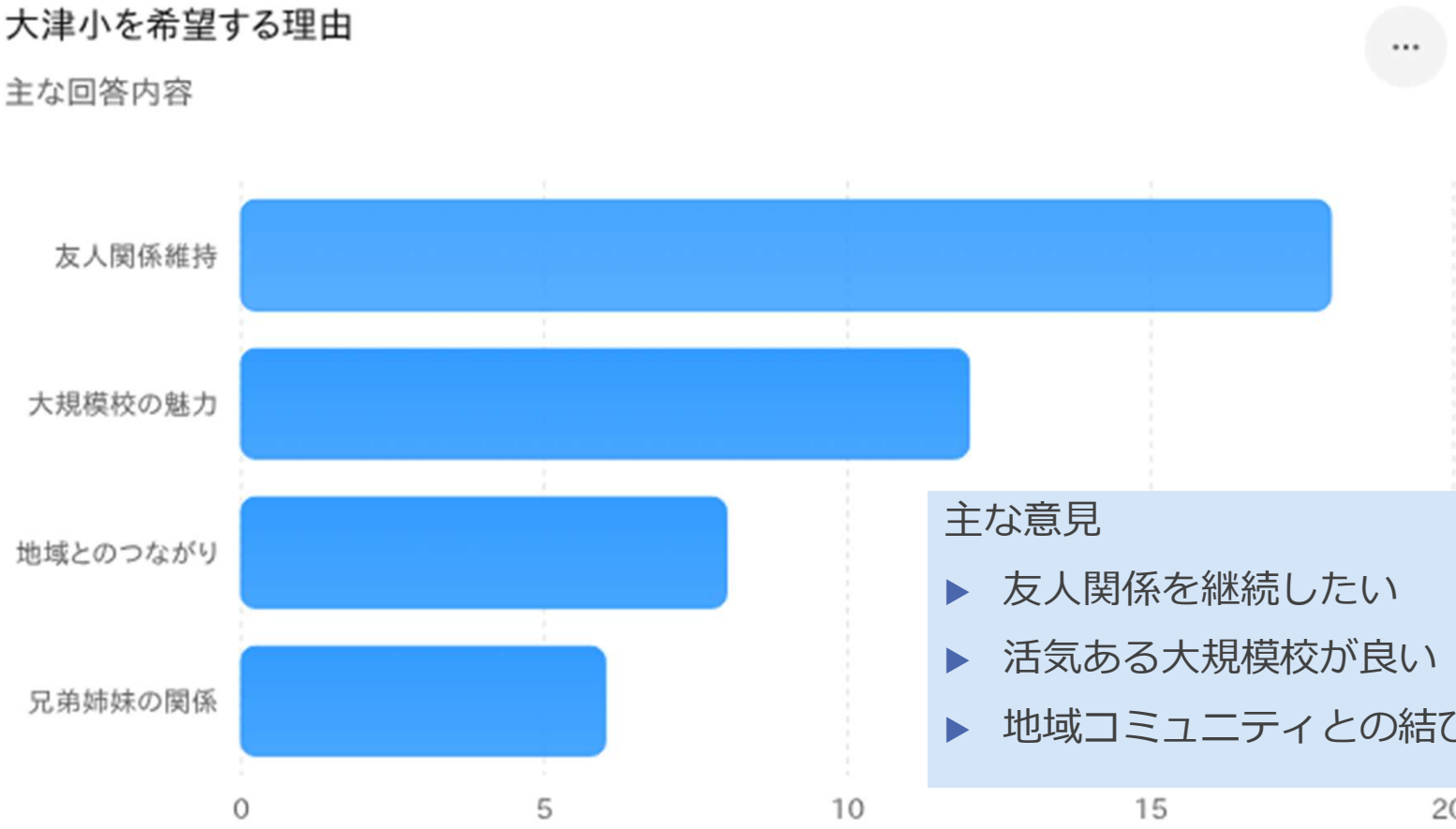
南小を希望・検討する理由［灰塚・新］



主な意見

- 通学距離が短くなる
- 低学年の負担軽減
- 少人数教育への期待
- 新しい教育環境への期待

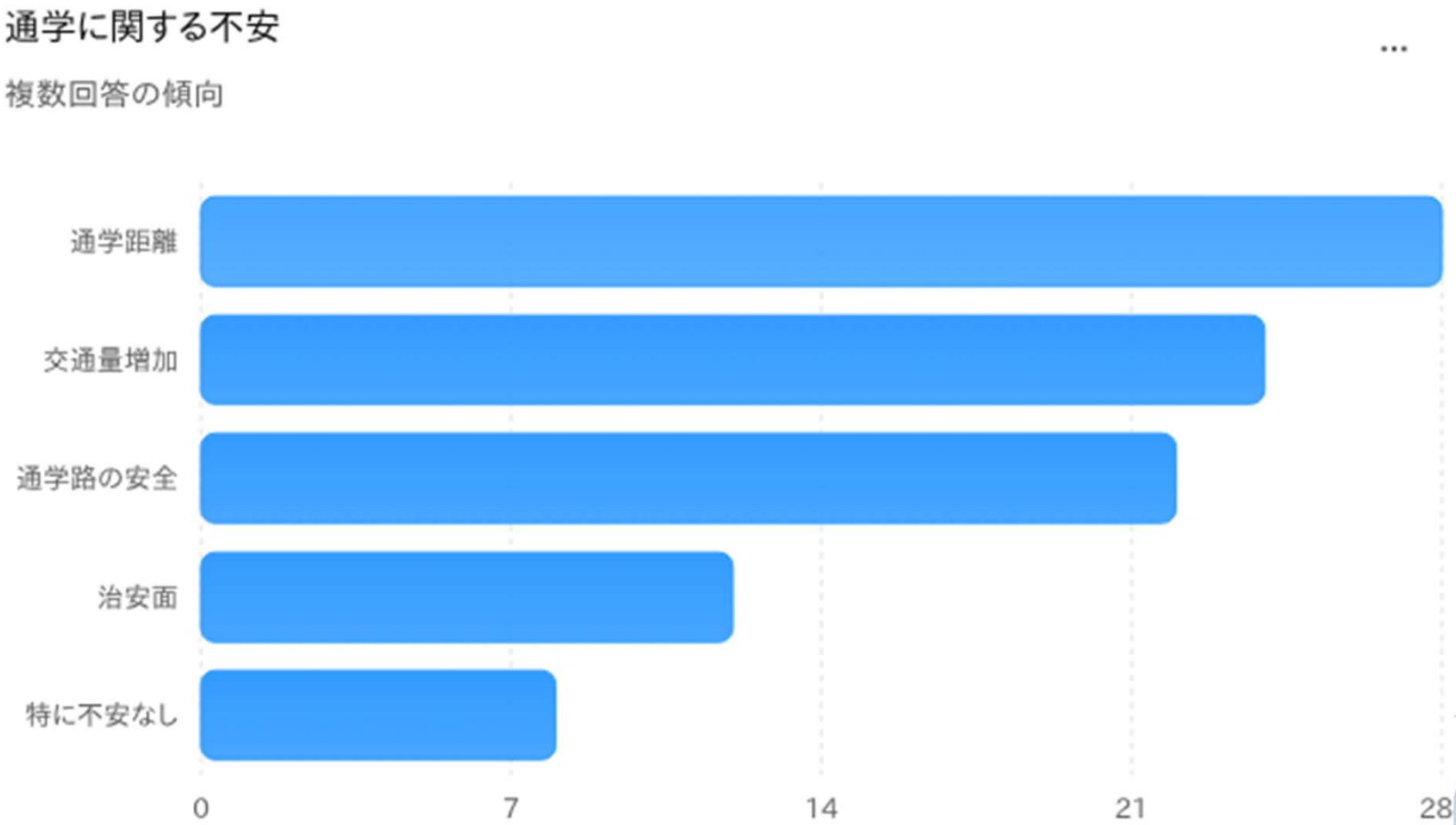
大津小を希望する理由 [灰塚・新]



主な意見

- 友人関係を継続したい
- 活気ある大規模校が良い
- 地域コミュニティとの結びつきを重視

通学に関する不安（現在小学校に通っている児童の保護者）



自由意見の整理

- 選択制を希望
  - 保護者が学校を選べる制度
  - 強制的な校区変更への反対
- 通学安全対策
  - 歩道整備
  - 横断歩道改善
  - 通学支援
- 在校生への配慮
  - 卒業まで現校区維持
  - 兄弟姉妹別校回避

総括

- **南小への期待は高い**
  - ・距離短縮　・少人数教育　・新校舎
- **現行維持を望む声も多い**
  - ・友人関係　・地域コミュニティ　・大規模校の魅力
- **共通課題**
  - ・通学路の安全確保
- **今後の検討課題**
  - ・校区再編
  - ・選択制導入の可否
  - ・通学安全対策
  - ・在校生や兄弟姉妹への配慮